

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第百廿四號

明治卅五年九月九日

和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第百二十一號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年九月六日

和歌山縣知事 藤 基一郎

一那賀郡王寺村大字西ノ芝

東 南出要蔵宅地限リ

西 平岡米太郎宅地限リ

南 大和街道限リ(但シ道筋ヲ除ク)

北 宮本爲三郎宅地限リ



○和歌山縣令第三百二十二號

明治三十五年八月本縣令第二百二十六號ハ本日限り廢止ス

明治三十五年九月六日

和歌山縣知事 椿 嘉一 郎

參照

明治三十五年八月縣令第二百二十六號ハ炭疽發生ニ付牛馬羊豚出入往來停止ノ件

○和歌山縣訓令甲第五十八號

沿 海 郡 役 所

全 警 察 分 署

全 警 察 分 署

全 町 村 役 場

本縣下和歌山港大崎港及東牟婁郡西向村大字西向ニ於テ虎列拉病疫生蔓延ノ兆アルニ依リ
本月五日告示第二百七十六號ヲ以テ檢疫施行ノ旨告示候就テハ該有病地ヨリ未檢疫ニテ來
航スル船舶有之哉モ雖計候ニ付此際豫テ訓達ノ旨趣ニ基キ嚴重注意取締ヲ爲シ無毒地ニ於
テハ病港没入餘地ナカラシムヘシ

明治三十五年九月五日

和歌山縣知事 橋 基 一 郎

○和歌山縣告示第二百七十四號

明治三十五年度本縣醫種検査員左ノ通り任命セリ
 明治三十五年九月五日

和歌山縣知事 椿 義一 郎
 松 永貞 太郎

○和歌山縣告示第二百七十五號

兵庫縣下神戸市三宮町ニ於テ客月十九日牝牛一頭炭疽ニ罹リ即日斃死シ津名郡岩屋町ニ於テ今月二十二日飼牛一頭氣腫疽ニ罹リ即日斃死セシ旨該縣ヨリ通知アリタリ
 明治三十五年九月五日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○和歌山縣告示第二百七十六號

虎列拉病豫防ノ爲メ明治三十五年^六本縣告示第百六十五號中沖繩絲ノ次ニ本縣下有病地ヲ追加シ本月六日ヨリ既設検査所ニ於テ船舶検査ヲ施行ス
 明治三十五年九月五日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○和歌山縣告示第二百七十七號

一縣下那賀郡王寺村大字西ノ芝石井字之松飼化牛一頭本月六日炭疽ニ罹リ斃死セリ
 明治三十五年九月六日

和歌山縣知事 椿 義一 郎

○町村助役ノ異動

那賀郡小倉村有給助役 紙谷久太郎

縣報第百二十四號

明治三十五年九月九日

第三種郵便物認可

四

明治三十五年九月五日認可

○觀測

明治三十五年九月四日ヨリ三日當地氣象概況

觀測項目	九 月 四 日		九 月 五 日		九 月 六 日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五五耗六	七五五耗五	七五五耗四	七五三耗〇	七五五耗一	七五一耗四
平均氣温	二六度六	二七度二	二五度八	二七度〇	二六度六	二八度〇
最高氣温	三〇度七	三二度五	二九度九	三二度六	三一度〇	三四度六
最低氣温	一二度〇	一二度四	一二度四	一二度四	一二度七	一二度〇
最多風向	北東	西	東北東	西	東	北
平均風力	三米〇	二米二	二米〇	二米五	二米七	五米一
天氣	晴	晴	晴	快晴	晴	曇
雨量	二耗七	一耗七	一耗四	!	!	!
記事	午后〇時	!	午后一時	午后〇時	!	午前九時

可認物便郵種三第日八月五年三十三治明

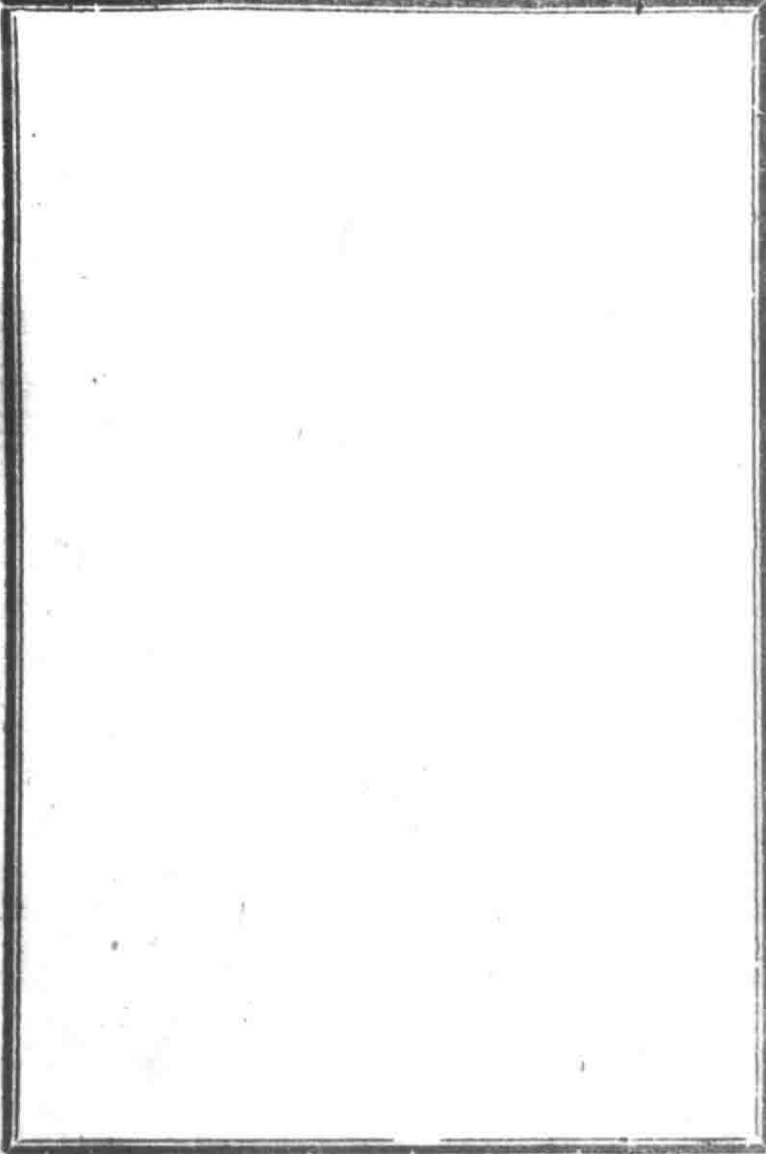
五十分 雷鳴全	十九分 雷鳴全	五十三分 沿海不穩	四十分 上不穩ノ
四時四十 三分止	三時十五 分止	ノ警戒ヲ 解ク	警報到着 午後四時
午後五時 五分			八分海陸 風雨ノ警
降雨斷續 全十時四 十五分止			報到着午 後九時四 十分
			全十時迄 強風吹ケ

縣報第百二十四號

明治三十五年九月九日

第三種郵便物認可

五終



(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十五年九月八日印刷

和歌山縣

和歌山縣

印刷人

和歌山縣印刷局